

平成30年 2月21日(水)

あおグループ

今回の杜の子ども会は、今年度最後なので各グループの発表会をしました。今までに杜の子ども会の時に話し合、て決めた手遊びと体操を伝えると、「おぼえてる!!」という声が多く、「とんとんひげいさん」のアレンジバージョンを一度確認してからとんとんひげいさんハハと元気な声を出して、本番では、ハハも入れよう」と意見を出している子どももいました。体操も「ミックスジュース」のアレンジバージョンなのですが、確認をするために踊った時には、踊りの振り付けを覚えているか不安な子どもも、これは、「おぼえてるぞ!!」と前に出て踊ってくれる子どももいてみんな確認をして本番に臨みました。本番では、舞台にあがると年中・年長の子どもは、年少や乳児クラスの子どもに、「さだよ」や「こせぞ」と声掛けをしなげら並べてくれています。実際に発表が始まるとみんな確認したこともあって、自信をも、てしかりと声を出して体を動かして踊り楽しむことができていました。他のクラスの発表を見ている時には、集中して見る子ども、発表しているグループの手遊びや歌に合わせて手叩いたり、動きを真似して一緒に楽しんでいました。最初は、同年代の子ども遊びが多かったが、子ども達とこの時間を通じて異年齢で言葉や手遊びや歌を一緒に楽しむことが増えてきました。また、乳児クラスの子どもも最初は泣いていることが多かったが、年長の子ども達と交流することで少しずつ一種の道徳もあまりました。このグループでの活動は最後ですがこのグループの経験が今後も活かして成長していきなす。

乳児から年長までみんな「とんとんひげいさん」を踊ることが出来ました!



体操では、最後ポーズも上手に出来ました。



♪ 第7回 ♪ 杜の子ども会 ☆ 杜の発表会 ☆

あかグループ

今年度で最後となる杜の子ども会。ホムに集り、発表会をする。赤グループは、「とんとんひげいさん」の歌や、「さくらんぼ」の歌と発表する。舞台上ということもあり、緊張している子や個性に表現したりして楽しむ姿が見られる。他グループの発表を見ながら一緒にする際、同年齢で関わっている子もいますが、自然と近くに居る異年齢で関わって楽しむ姿もみられる。この杜の子ども会を通して、室内あそびの中でも異年齢で一緒に関わってあそび、年下の他児のお世話をしたりと子どもたちの成長が見られ、嬉しく感じている。

ヒト喜



年長児が小学校の運動会の発表中。



異年齢で製作。



ホムでの待合時間、みんなを待たせている。

きみどりグループ

今日は1年間一糸者に過ごした木の子どもの会のグループで「杜の発表会」に参加しました。前回の活動で「みんなで決めた「どうさんの合奏・合唱」と「一本橋」の手あそびを披露しました。舞台上に上がる時に年上の子どもは小さい友だちの手をとり、「一糸者に行こう!」と誘っていました。舞台上に上がると幼児さんは少し緊張気味でしたが大きな声で歌っていました!! 年長さんは保育室にいる時も常に幼児さんのことを気にしてくれるようになって自らお手伝いをしてあげています。1年間、同じグループで過ごし年下の子どもはお兄ちゃん、お姉ちゃんを頼り、年上の子どもは小さい友だちのお世話を頑張りました!!

西村

それぞれの子どもが「1年間」とても成長しました!!



手繋いで「一糸者に行こうね!」



一生懸命がんばりました!!



お茶どうぞ!!

きいろグループ

杜の発表会に向けて『たこやきマンボ』を踊りながら考えた振付のおさらいをしました。踊っていると、「ここは手を合わせて」「こんな動きもあつたで」等、振付を思い出しながら教えてくれました。その後、みんなで踊る中で、「ここはもっと動きをしたら良いと思う」「お客様に顔を向けた方が良い」と自分たちが楽しむだけでなく、見てくれるお客さんのためにより良いものになろうと意欲的に意見を出す姿が見られ、改善をすることにしました。本番では、元々「マンボ」と言いながら笑顔で楽しく披露することが出来ました！今年度、黄色グループとして活動お終りで、はじめは、乳児の友だちや自分より年下の友だちとどう接したらいいのか分からず、戸惑う姿が見られていました。今では、1人1人について一緒に遊ぶ、自然と視線を合わせてやさしく声を掛ける姿が見られるようになりました。年下の子どもたちの中には、年上の子どもたちと関わることを嫌がる姿も見られていましたが、クラスに慣れてくると笑顔で自分から関わりようとする姿が見られるようになりました。異年齢での関わりを通じ年下の子どもへの思いやりや年上の子どもへの憧れを感じ、たくましく成長出来た一年間になったと思います！！ 森山



練習中、本番でもとても楽しく笑顔で踊っていました！



みずいろグループ

今回は、ホールで杜の発表会をしました。全グループが集まり、各グループごとに遊びを発表しました。みずいろグループは、今までの活動で楽しんできたわらわらの「さらわたし」をアレンジして発表しました。ピアノを年長さんと保育者が弾き、歌の途中で体の隠れ部分や子どもが言うなど、子どもが中心となった発表になりました。

子ども達は、発表前「ちょっ」と緊張していたが、発表後は「めっちゃ楽しかった、またよいわ」と楽しんでいる様子でした。

今回で今年度最後の活動だったので、お帰りの会で年長さんがみんなに一言ずつコメントを言いました。「今までありがとう、学校行く時も頑張るなど言いながら泣く子どももいました。年少の子を見れば「みい」と言って泣くなど、子ども達の物深まりを感じる事が出来ました。」



円になってさらわたし

先生と一緒にピアノ演奏

最後の杜の子ども会はホールで杜の発表会に参加しました。朝の会後に「とんがりころころ」を歌い、振付を思い出すと年長組の子どもが中心となり踊ってくれました。劇あそび会での経験をもとに「声が小さかったら後ろまで聞こえへんのちゃう?」「じゃあ大きく綺麗に歌おう」と更に良くするために話し合う姿もありました。他グループの発表を見て一緒に歌ったり、遊んだりしてからみどりグループの出番が来ました。本番前に「舞台上立って恥ずかしくてできんかも～」と緊張していましたが、前回の活動で作ったとんがり帽子を被り、舞台上立って皆元気に歌って踊っていました！舞台から降りると名残惜しそうに帽子を脱いでいたのでまたご家庭で踊ってもらってください！部屋に戻り毎回行っていたあぶくたつたをするとう乳児クラスの子とも一緒に歌い、逃げていました。1年間で様々な遊びを通して異年齢の関わりを深めていくことが出来ました。



木村



みどりグループ



発表会の前にかっこよく舞台で踊れるように練習をしました。「声は大きい声で言う」や「後ろの人にも見えるように踊る」などの意見を言ってくれました。また曲の一部分をみんなが知らない振り付けにしようと言話し合い、急遽変更することに！「パチパチパチ」と名前を付け、子グループ縦に列になり、パチパチになりきって踊る事にしました。桃色グループさん発表の時、やと踊れるなや「少し緊張する」という子どももいる中、楽しんで踊ってくれました！！

桃色グループ



パチパチパチ成功！！